

ギリシャで民主左派党が連立を離脱

発表日：2013年6月24日(月)

～早期の解散総選挙は回避も、不安定さを増す政権基盤～

第一生命経済研究所 経済調査部
主席エコノミスト 田中 理
03-5221-4527

- ◇ ギリシャでは国営放送の閉鎖・営業再開を巡る対立から、民主左派党（DIMAR）が21日に連立離脱を決意。サマラス首相は議会の早期解散・総選挙を回避し、内閣改造を行ったうえで、自身が率いる新民主主義（ND）と連立パートナーの全ギリシャ社会主義運動（PASOK）の2党による連立を続ける構え。
- ◇ 新たに連立を組む2党の合計議席は153と、議会の過半数（151議席）を辛うじて上回っている状況。現在PASOKに所属する議員の一部は、過去に緊縮策に反対して党から除名され、その後に復党を果たしている。DIMARや独立系議員の一部が閣外協力の可能性を示唆しているとは言え、政権基盤は不安定さを増している。
- ◇ 財政再建を巡っては、民営化や公的部門の人員削減が計画通りに進んでいないほか、債務の持続可能性を不安視する声もある。IMFが次回の四半期融資への参加を見送る可能性もあり、追加の緊縮策などを求められた場合、政権運営が行き詰まる恐れがある。

ギリシャではサマラス首相による突然の国営放送ERTの閉鎖命令の波紋が広がっている。国民の反発や17日に国家評議会（行政訴訟の最上級審）がERTの即時営業再開の命令を下したことを受け、首相も新たな国営放送が開設されるまでの一時的な営業再開に傾いていた。ただ、首相が現在の職員を削減したうえで部分的な放送を再開することを主張し、PASOKのベニゼロス党首もこれに理解を示したのに対し、DIMARのクベリス党首は従来通りの放送再開と全職員の採用継続を求めて意見が対立。17日、19日、20日と3日間にわたって党首会談で協議を重ねてきたが、両者の溝は埋まらなかった。21日の党会合でDIMARは連立から離脱することを決断した。

サマラス首相はDIMARの連立離脱後も総選挙を回避する意向で、近く内閣改造を行い、NDとPASOKによる連立政権を続ける構えだ。両党合わせた議席数は153と、議会の過半数（151議席）を辛うじて上回っている（図表1）。ただ、現在PASOKに所属する議員の少なくとも4名は、過去に緊縮策の受け入れに反対して党から除名され、その後に復党を果たしている。ギリシャは次の四半期融資（トランシェ）へのIMFの参加が危ぶまれており（詳しくは6月20日付け「そしてギリシャが帰ってきた」を参照されたい）、追加の緊縮策を求められる恐れもある。さらなる緊縮に一部議員が造反すれば、議会運営はすぐさま行き詰まる。昨年6月の総選挙後に支持率が一段と低下しているPASOKは、惨敗が必至な早期の再選挙を回避する意向とみられるが、支持率低下の一因は連立政権を支えて緊縮路線を支持していることにある。左派色の強い議員が反旗を翻したとしても不思議ではない。支持率調査では、前回選挙で大躍進を遂げた反緊縮・反ユーロ政党の急進左派連合（SYRIZA）に加えて、最近では移民排斥を訴える極右のナショナリズム政党

の黄金の夜明け（Golden Dawn）が支持を伸ばすなど、政治情勢は引き続き流動的だ（図表2）。

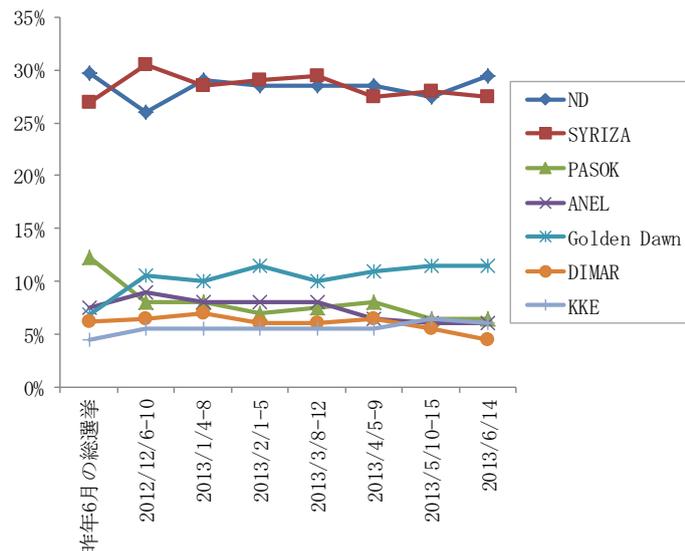
加えて、①国営ガス会社DEPAの入札が失敗に終わるなど、国有企業の民営化が計画通りに進んでいないこと、②今回のERTの閉鎖計画の修正により、支援再開に際して約束した公的部門の人員削減が計画に満たないこと、③欧州中央銀行（ECB）の傘下中銀の一部が、保有するギリシャ国債の満期償還時の超過収益を自発的にギリシャ支援に還元することを拒否していること、④ギリシャの債務の持続可能性に懐疑的なIMFが次回融資への参加を見送る可能性があること、⑤追加の債務軽減措置を巡って、支援提供国の間で意見対立が表面化する恐れがあることなど、ここにきて新たな問題も表面化している。

（図表1）ギリシャの議会勢力

	改選前	2012年5月の総選挙結果	2012年6月の総選挙結果	2013年1月時点	2013年6月時点	DIMARの連立離脱後
新民主主義（ND）	72	108	129	125	125	125
急進左派連合（SYRIZA）	11	52	71	71	71	71
全ギリシャ社会主義運動（PASOK）	129	41	33	24	28	28
独立ギリシャ（ANEL）	10	33	20	18	18	18
黄金の夜明け（Golden Dawn）	-	21	19	18	18	18
民主左派党（DIMAR）	10	19	16	14	14	14
ギリシャ共産党（KKE）	21	26	12	12	12	12
国民党党派運動（LAOS）	16	-	-	-	-	-
無所属	31	-	-	18	14	14
定数	300	300	300	300	300	300
与党勢力	201	149	178	163	167	153

注：議会会派として認められる最小議員数を満たす政党のみ。網掛けは与党。
出所：ギリシャ議会資料より第一生命経済研究所が作成

（図表2）ギリシャの政党別支持率調査の推移



出所：電子版kathimerini（Public Issue調査）より第一生命経済研究所が作成

以上

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。